

認知症あんしん生活実践塾2023

～家族で治そう認知症～

実施報告書



主催 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会
学校法人北斗文化学園 北海道福祉教育専門学校
認知症あんしん生活実践塾2023実行委員会
後援 北海道 室蘭市 登別市 伊達市 浦河町 様似町

1. 研修会実施要領

(1) 研修会の目的

現在、わが国は、超高齢社会と呼ばれるほど高齢者の人口が増加しており、高齢化の進展に伴い4人に1人が認知症またはその予備軍とされ、今後の大きな社会問題となっております。

そのような状況の中、一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 竹内孝仁会長の提唱する「認知症を治すケア」を広く一般住民の方々に周知していただき、在宅で認知症の方を介護するご家族の支援や認知症となった方々がいつまでも住み慣れた在宅で生活ができるよう、「認知症あんしん生活実践塾2023」を開催いたしました。

(2) 実施日時

令和5年7月8日(土) 13:00～16:00

(3) 実施会場

室ガス文化センター 大会議室
北海道室蘭市幸町6番23号

(4) 参加者

107名(学生18名、一般36名、医療福祉専門職及びその他53名)

2. 研修会場

(1) 研修カリキュラム

12:30 開場

13:00 開会挨拶 実行委員長 北海道福祉教育専門学校 学校長 澤田 乃基

来賓挨拶 北海道胆振総合振興局局長 関 俊一

公務の為代理 北海道胆振総合振興局保健環境部

社会福祉課主幹 荻原 貴男

13:05 第1部 講演「認知症を治すケア その理論と実践(2)」

-認知症の新しい介護理論-

講師 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 竹内 孝仁顧問

14:00 休憩・換気

14:10 第2部 シンポジウム

座長：一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 吉谷 敬理事

報告①認知症あんしん生活実践塾いぶりの3年間の成果と課題

発表者：北海道福祉教育専門学校 主催者 久保 明人

報告②認知症介護と向き合い、やっと生活が楽になれた～

発表者：認知症あんしん生活実践塾いぶり塾生 小西 千代子

報告③あんしん塾で得た、おばあちゃんとの安心した生活

発表者：認知症あんしん生活実践塾八峰町塾生 山本 順子

共同発表者：認知症あんしん生活実践塾主催者 川尻 栄子

報告④弘前市のあんしん塾の取組

発表者：弘前市あんしん塾講師 大里 めぐみ

15:05 ディスカッション パネリストと会場を交えてのディスカッション
コーディネーター

一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 竹内 孝仁顧問

一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 吉谷 敬理事

15:50 次回開催挨拶 白梅学園大学・白梅学園短期大学
准教授 午頭 潤子先生

16:00 閉会挨拶 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会
岡本 丈義理事

(2) 研修内容

①第1部 講演

「認知症を治すケア その理論と実践 (2)」-認知症の新しい介護理論-竹内孝仁
会長より、私たちは日常生活において、物事を「まとめる」、「意味づける」、「関
係づける」ことを無意識に行いながら時間の流れを進め未来を創造し、物事の流
れを作りながら生きている。認知症の方は、これらの行為がうまく行えないため

物事が理解できず、そこから混乱や不安が生じており、「認知」に失敗する。「認知」の条件には積極性や活動性といった能動性が関係しているということをご講義いただいた。

②第2部 シンポジウム

各認知症あんしん生活実践塾塾生からの実践報告を行う。

塾生が経験した基本ケア実践の効果や、日々の実践に関する具体的な工夫内容を報告することが出来た。また、各塾の取り組みや成果を報告することが出来た。そして、介護福祉士を目指す学生による認知症介護の支援が効果的であったこと、家族介護における現実を伺い知ることができ、認知症介護に向き合うことへの姿勢や意識を高めることに繋がった。

③パネリストと会場を交えてのディスカッション

参加者とパネリストとの積極的な意見交換を行うことができた。

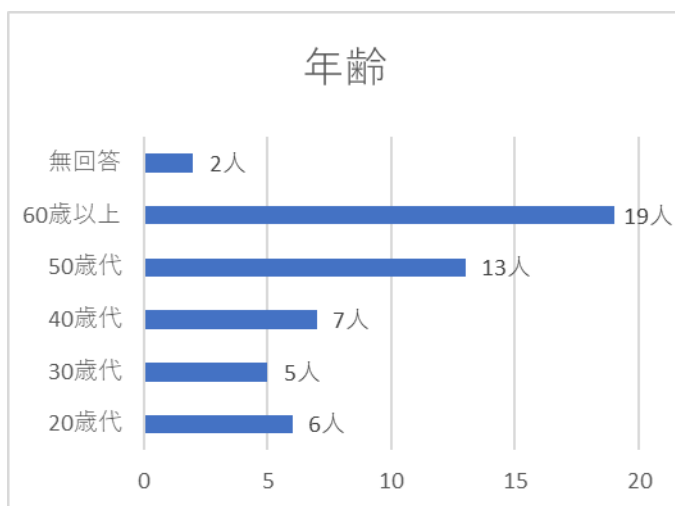
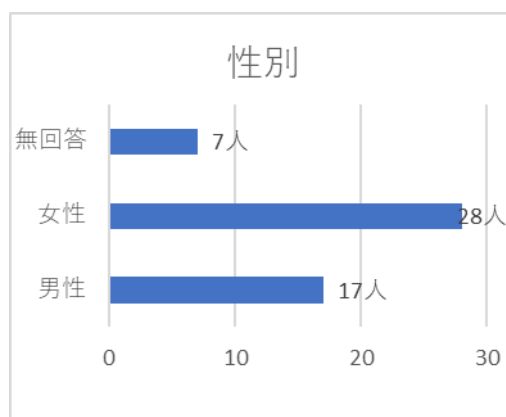
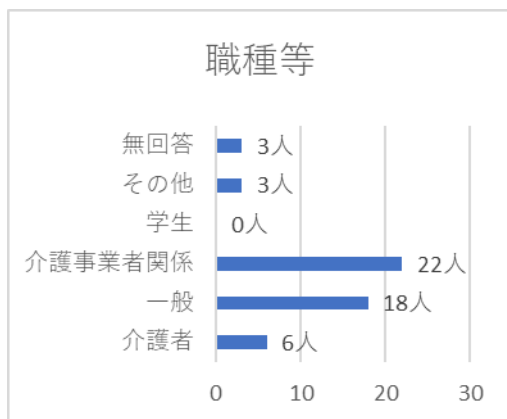
ご質問内容は、「あんしん塾を主催し、今回発表した以外に印象的な事例を紹介してほしい」、「基本ケアで特に注意すること、必ず行うべきことは何か」、「今後のあんしん塾を開催するにあたり、今年度の展望について教えてほしい」、「医療サイドからの認知症介護の現状について知りたい」などがありました。

3. アンケート結果

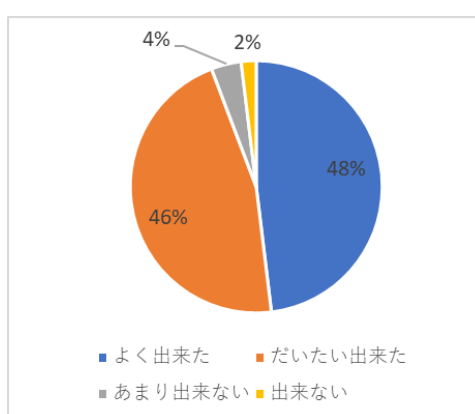
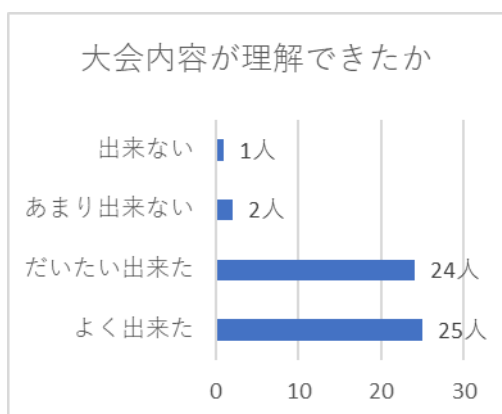
(1) アンケート回答者 アンケート回答者 52名 回収率 48.5%

(2) アンケート結果

①基本情報



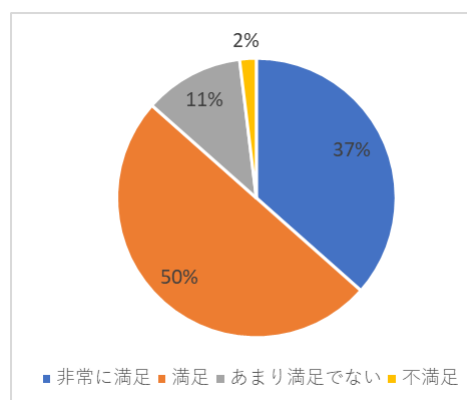
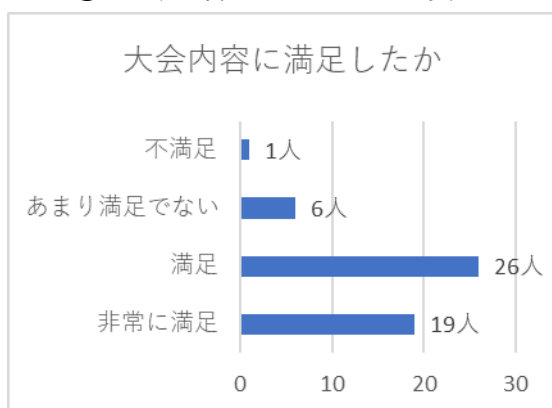
②大会の内容に関する理解



ご意見

- ・学習障害の行動障害（症状）も認知障害が原因という竹内先生の話が大変興味がありました。
- ・まだまだ分からないことの多い認知症ですが、人の心理と合わせて勉強することもたいせつで、興味深いこともとても多いと感じます。
- ・パワーポイントが大きいとわかりやすい。
- ・竹内先生のお話の続きが聞きたいです。
- ・水分と運動の大切さを改めて実感した。
- ・認知症の考えが変わりました。
- ・市民会館での竹内先生のお話を聞かせていただき楽しみにして参加しましたが、本日の内容は、一般人にとってはピンとくるものではなくマイクの声も悪く、前回の感動的な内容を期待しておりましたが、非常にながかりしました。
- ・これほどの成果が出せるのであれば、地域全体で取り組み、認知症ゼロの町作りを目指してはいかがでしょうか？
- ・安心塾は、費用はどのくらいかかりますか？
- ・勉強になりました。竹内先生の話もっと聞きたかったです。
- ・水分と運動・栄養がとても大事ということが分かった。（3）
- ・全体的に理解しました。
- ・いつも竹内先生のお話は分かりやすいです。
- ・水分・栄養・運動・排便によって能動性が改善されるということが分かりました。
- ・音声小さくて聞き取れない部分があった。（5）
- ・やはり実践した取り組みはわかりやすく、安心につながると感じた。
- ・マイクの声が小さく声が聞き取れず、とても残念でした。

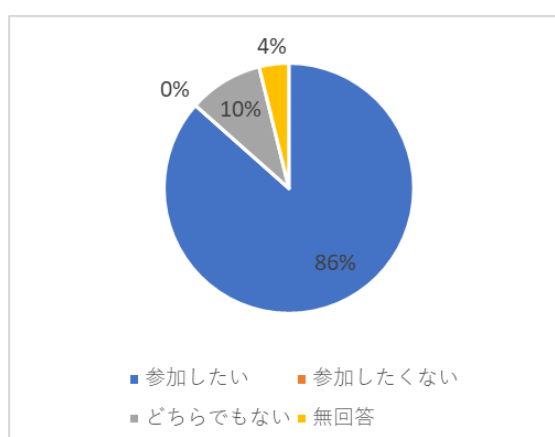
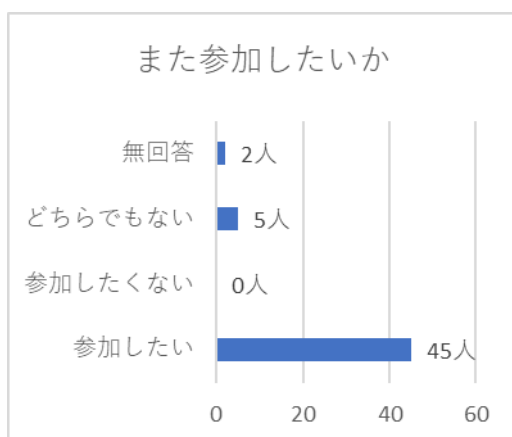
③大会内容に関する満足度



ご意見

- ・竹内先生の認知症についての講義もう少し時間をかけて聞きたいと思いました。
- ・実際あんしん塾に参加された声が聞け、成功している事例でとても良い内容を聞くことができました。
- ・室蘭も楽しめました。
- ・ご家族の声が聞けて良かったです（2）。
- ・竹内先生の講演はもう少し音量をあげてほしかった。（5）
- ・全体的にスクリーンが小さくて見づらく残念な感じでした。
- ・竹内氏のお話は分かりやすく聞き入ることができました。
- ・これで全国大会ですか。
- ・あんしん塾は全国でどの位の活動がありますか？
- ・公演された各市の首長も参加されるべきでは？
- ・竹内先生の話も興味深かった。
- ・認知症を多くの人に理解してほしいという取り組みはどんどん広げるべきと思う。
- ・今回は実践報告で参加者も効果あることにびっくりです。
- ・認知症の母の対応に困っていましたが、かかわりのヒントをいただいたように思いました。
- ・パネリストの方のお話とても参考になりよかったです。
- ・今後の生活に加えていきたいです。
- ・あまり実感わかなかった。
- ・大会内容は良かったです。
- ・あんしん生活塾が今後のご家族の生活が楽になり、よかったですと思います。今後も継続していただければと願います。

④また参加したいか



ご意見

- ・全国大会になり塾生からの報告とても大切だと思います。
- ・場所に行く事ができず困っている方もいると思いますので、ZOOMなどで全国に広めていく会にすることが出来るなら希望します。
- ・施設内だけでなく、地域で、在宅で暮らしている人の事例を聞くことが出来るのでまた参加したいです。
- ・竹内先生が最後におっしゃっていた認知症はおもしろい！
- ・地域全体がこの感覚でともに楽しい時を過ごせるようになりたいので勉強させていただきます。
- ・もっと知識を深めたいと思った。
- ・機会があれば室蘭以外でも参加したい。
- ・数多く実践のお話を聞きたい。
- ・自分の事、家族の思いなど分かり予防できるならそうありたい。次も楽しみ。
- ・いつも違うことを知ることが出来る。
- ・音響次第です。
- ・内容によって
- ・私も認知症の理解に向き合っていきたいので、又参加させていただきたく思います。
- ・職場でも参加させていただきます。

⑤その他ご意見

- ・最後の大里さんの報告の中で、家族から専門職にもっと勉強してほしいというような内容があり、身が引き締まる思いです。これからももっと勉強していこうと思います。
- ・事前のPRが不足していたように思います。今回も文化センター大ホールを使う位の意気込みと、地域を巻き込むパワーを期待します。
- ・実践していることが、間違っていないことに自信を持ちました。
- ・新しい出会いに感謝します。ありがとうございました。
- ・認知症難しくないということが分かった。
- ・理解すれば方法はもっとあると思った。
- ・認知症いろいろなケースがあって、いろいろな意見も知ることが出来ました。
- ・高齢社会に少しでもお役に立ちたいと思います。
- ・これからも実になる企画よろしくお願いします。
- ・家族に認知症の方がいる方、是非生のお声、たくさん聞きたいです。
- ・高齢社会ですのでこのようなイベントとてもありがたいです。

- ・予防についても教えていただきたいです。
- ・認知症の利用者さんに、「水・便・栄養・運動」できるところを補助していこうと思います。
- ・認知症が治るということがわかり嬉しく思いました。
- ・あんしん塾が室蘭にて、どこでやるのか知りたいです。
- ・改善への4点に留意していきたいと思います。
- ・何事もあきらめないことでしょうか。
- ・今後の開催にあたり、マイク音声のチェックは念入りに調整していただきたい。
- ・あんしん塾の取り組みや制度としての部分はとても良いものだと思います。
- ・今回の話を聞き自分たちでもできる事は、地域に戻って準備して実践してみたい。
- ・在宅での介護者のご苦労や安心塾の取り組みを直接聞くことが出来、学びの気づきをいただきました。自身の施設に持ち帰り現場に生かしたいです。
- ・一般の方が、基本ケアが分かったか心配になりました。
- ・認知症改善成功事例を拝見し、何よりもご家族様のすてきな笑顔が印象的に残っています。
- ・とても素晴らしい講演でした
- ・とても参考になる内容であり、自身の業務に反映したいと感じました。
- ・認知症の地域理解が進むことにより働きやすいまちづくりが進むと思います。
- ・訪問リハビリとして認知症ケアに対しよりお役に立てるよう努力していこうと改めて思いました。
- ・竹内先生の話をもっと聴きたかったです。

4. まとめ

今年度の大会は、新型コロナウイルス対策が緩和されて間もない時期での開催であったが北海道内外より、107名のご参加を頂いた。前回同様に会場の機材等の調整に苦慮することもありましたが、当日は大きなトラブルもなく予定していた時間通り順調に大会を終了することが出来ました。

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために、行政、医療福祉従事者、学校等が連携を図り、より良い地域社会作りに貢献できるよう、今大会での学びを活かし、本会を更に発展させ、次年度も開催をする決意です。

最後に北海道室蘭市での本大会開催については、皆様方のご協力によりに、無事執り行うことが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

認知症あんしん生活実践塾 2023 in 北海道室蘭 実行委員会